



株式会社クロス・マーケティンググループ<sup>®</sup>

# 2025年6月期 通期決算・会社説明資料

---

2025年8月

## Summary 1

- ・ **25/6期 売上高289億円(前期比10%増)、営業利益25.2億円(37%増)**
- ・ 期初計画は未達ながら、二桁增收・増益で過去最高を更新
- ・ データマーケティング事業、デジタルマーケティング事業が全体をけん引

## Summary 2

- ・ **中期経営方針：『Unite & Generate』**
- ・ **5年以内に、売上高500億円・営業利益50億円を目指す**
- ・ **26/6期より、事業セグメントを2区分に再編**

## Summary 3

- ・ **26/6期計画 売上高320億円(11%増)、営業利益28億円(11%増)**
- ・ 配当は**15.0円(前期比1.0円増)**と、増配を継続

## 売上高289億円(前期比10%増)、営業利益25億円(37%増)：過去最高を更新

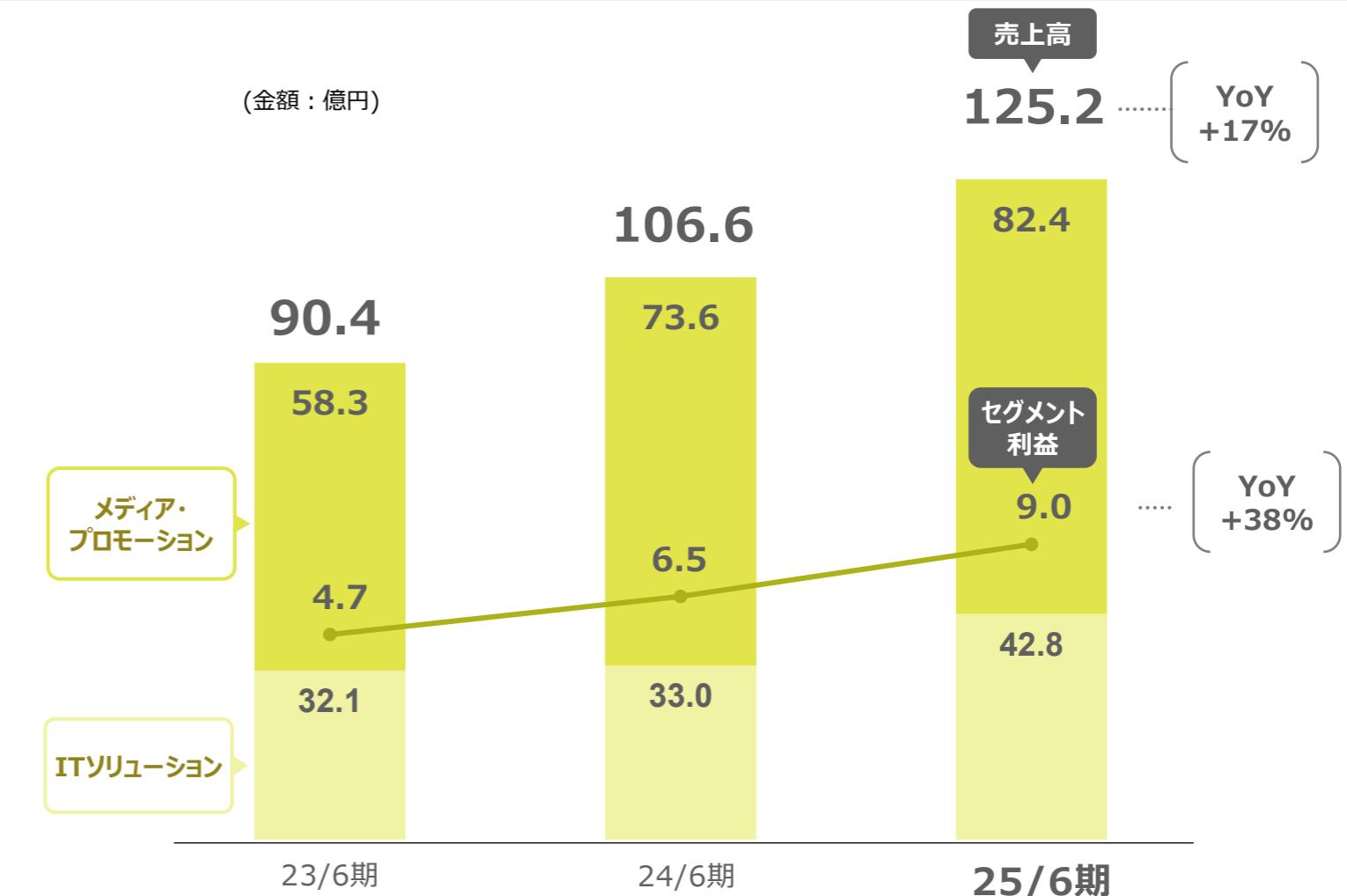
(億円)	24/6期 通期 実績	25/6期 通期			YoY 成長率
		期初計画	実績		
売上高	261.8	300.0	289.0		+10%
デジタルマーケティング事業	106.6	130.0	125.2		+17%
データマーケティング事業	88.1	100.0	99.1		+12%
インサイト事業	67.1	70.0	64.6		-4%
売上総利益 (売上総利益率)	102.3 (39.1%)	—	110.7 (38.3%)		+8% (-0.7pt)
販管費	83.8	—	85.5		+2%
営業利益 (営業利益率)	18.4 (7.0%)	30.0 (10.0%)	25.2 (8.7%)		+37% (+1.7pt)
EBITDA*1 (EBITDAマージン)	24.7 (9.4%)	—	31.3 (10.8%)		+27% (+1.4pt)
経常利益	19.1	29.0	24.0		+26%
親会社株主に帰属する 当期純利益	11.9	18.0	13.6		+14%

\*1 : EBITDA : 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

## 売上高17%増、セグメント利益38%増 メディア・プロモーション、ITソリューションとも好調

### ハイライト

- ・メディア・プロモーション：12%増収。インフルエンサー・マーケティングやIPプロモーションの高成長領域がけん引。3PL事業<sup>\*1</sup>のパスクリエも寄与
- ・ITソリューション：30%増収。新規連結のクリエイティブリソースインスティチュートが増収に貢献
- ・セグメント利益は38%増益。売上の増加に伴う粗利増が主因



\*1 サードパーティロジスティクスの略。荷主企業と配送業者間に介在し商品・貨物を仲介する物流事業

## 売上高12%増、セグメント利益34%増 国内オンラインリサーチ堅調に加え、北米事業の回復が寄与し、過去最高業績を更新

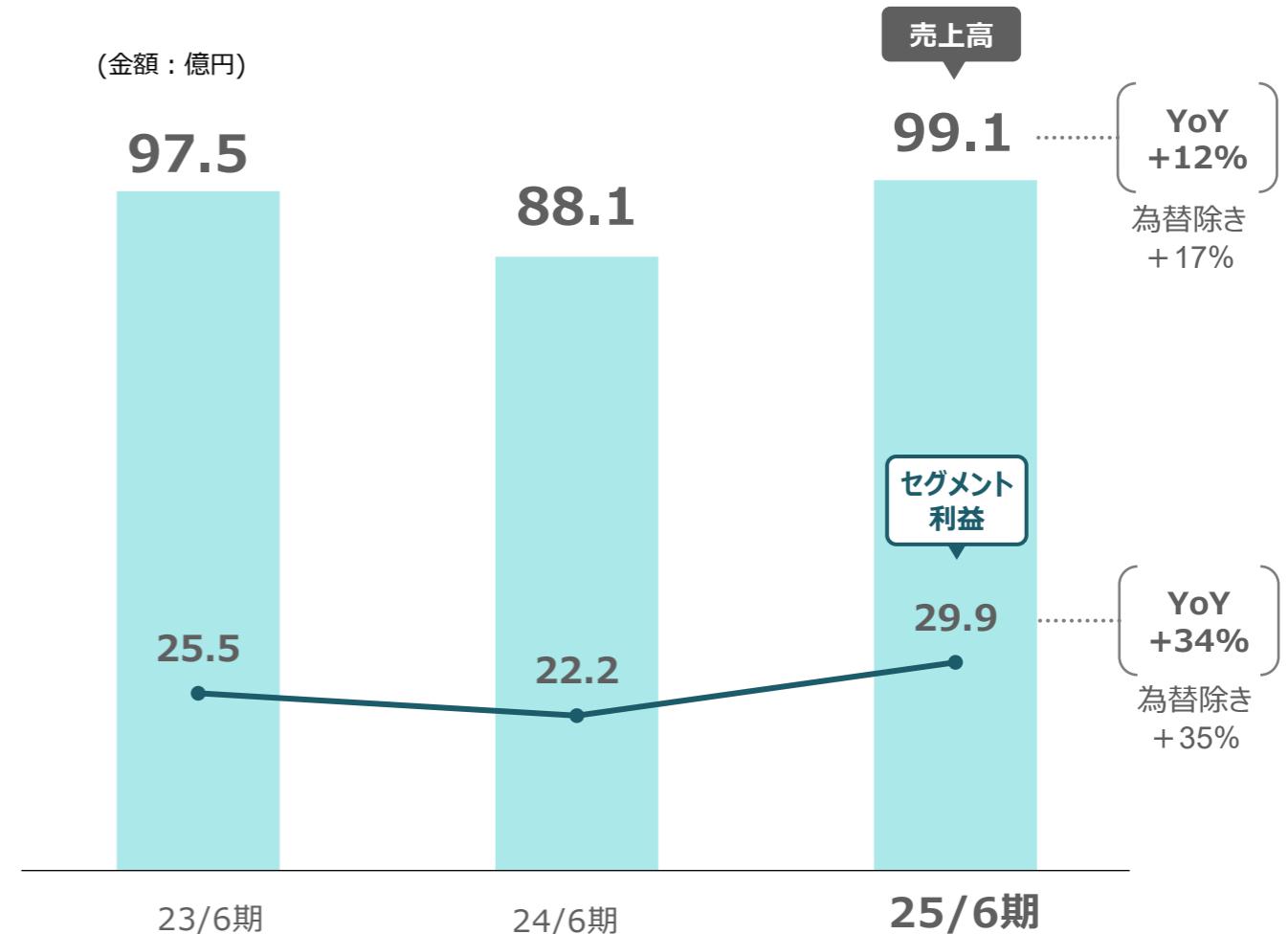
### ハイライト

- ・国内は5%增收。オンラインリサーチ需要が底堅く推移
- ・海外が29%增收、主力の北米が、前年苦戦した反動で大幅に回復
- ・セグメント利益は34%増益。AI活用を含む生産性改善で、利益率は30%に到達

### 為替影響

- ・円高影響<sup>\*1</sup>は売上▲3.9億円、利益影響は軽微

\*1 2024年6月期通期の実績為替レートとの比較



## 売上高4%減、セグメント利益14%減 国内ではヘルスケア領域苦戦が長引き、海外は新興国が厳しかった

### ローライト

- ・国内1%増と伸び悩み。1~3Qまでのヘルスケア領域苦戦が足かせに
- ・海外が17%減。インドネシア及びシンガポールが伸び悩む

### ハイライト

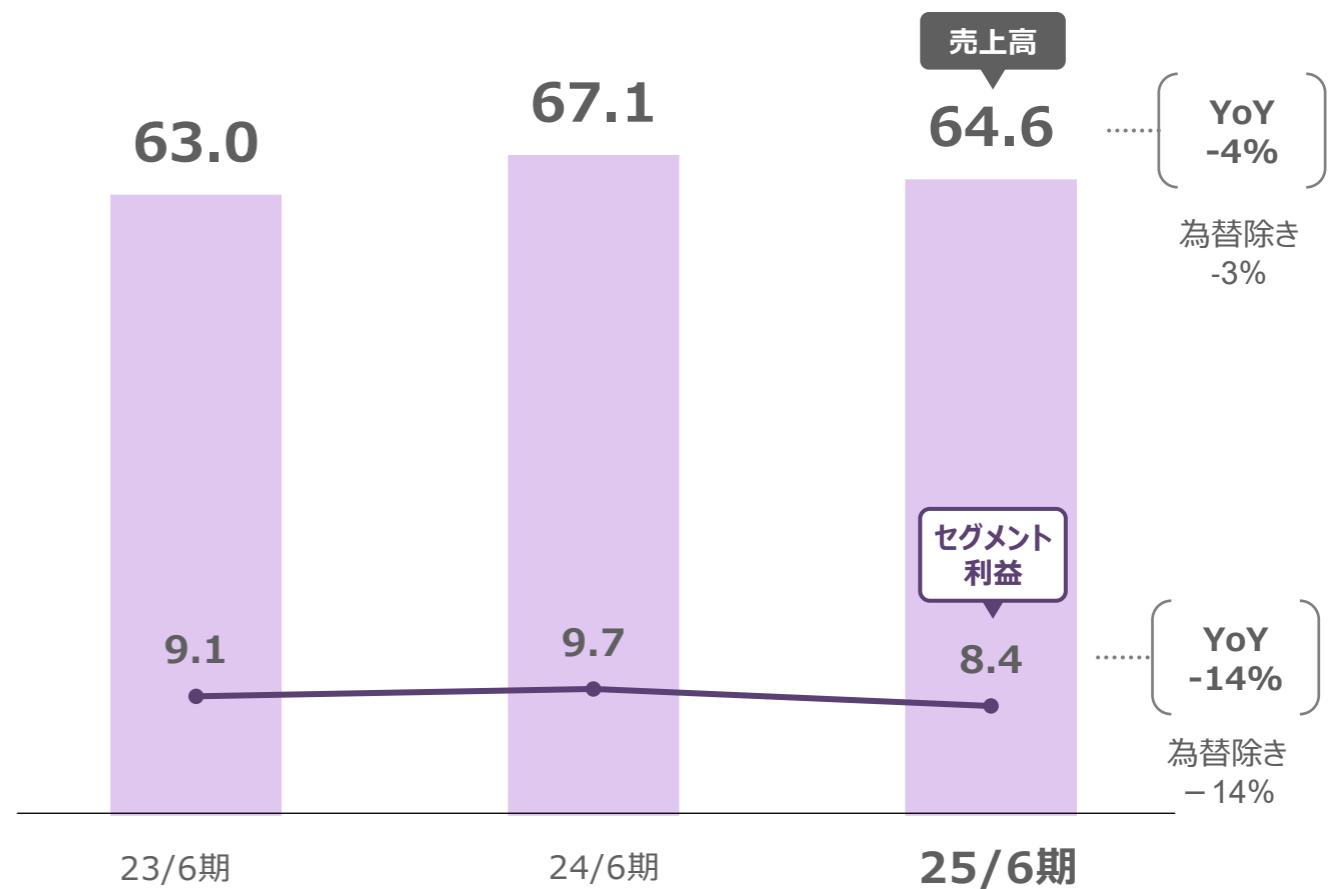
- ・英国拠点は通期ベースで約3割增收と高成長
- ・国内ヘルスケア領域は、4Q(4-6月)增收に転換

### 為替影響

- ・円高影響<sup>\*1</sup>は売上▲0.8億円、利益影響は軽微

<sup>\*1</sup> 2024年6月期通期の実績為替レートとの比較

(金額：億円)



## Coum株式会社を子会社化（2025年6月） 経営戦略・事業戦略の策定などクライアントのより上流の課題解決力を強化

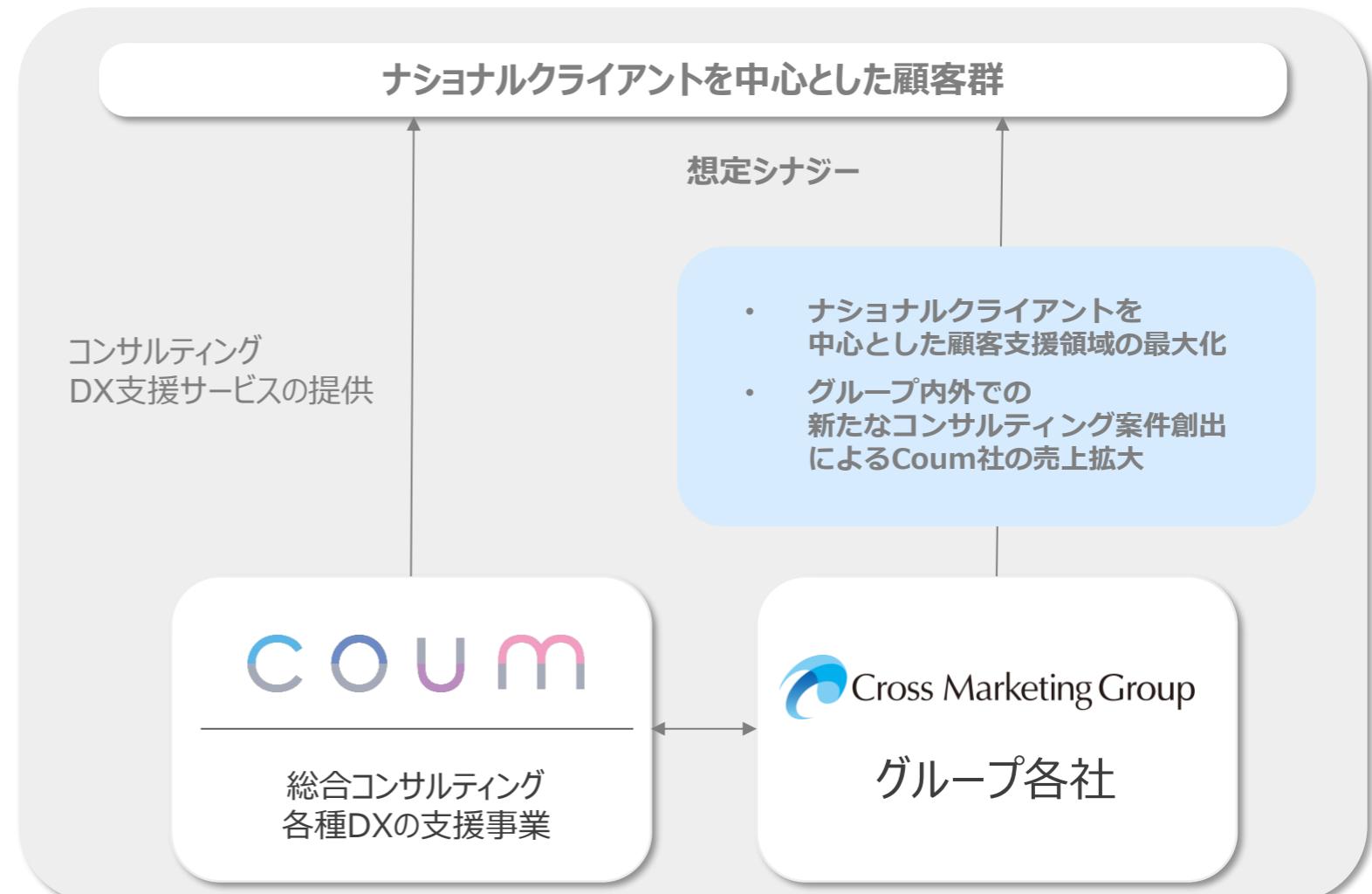


### ■ 企業概要

- ・会社名：Coum株式会社（コウム株式会社）
- ・設立：2019年3月
- ・社員数：18名（2025年6月時点）

### ■ 事業概要

- ① 総合コンサルティング
  - ② 顧客接点のDX
  - ③ 業務プロセスのDX
- ・直前期売上高：約3億円



# REECH社にてネクストレンド社から一部事業を譲受（2025年6月） インフルエンサーマーケティング領域の成長を加速



### ■ 企業概要

- ・会社名：株式会社ネクストレンド
- ・設立：2017年4月

### ■ 事業概要

- ・インフルエンサークリエイターフィリエイト広告事業
- ・インフルエンサーマーケティング事業
- ・WEB広告運用事業

- ・対象事業直前期売上高：約7億円

インフルエンサーの選定から施策実行までを一気通貫支援



年間約3,000案件の  
インフルエンサーを活用した  
プロモーション実行支援・  
施策立案の豊富な実績



インフルエンサーに関する  
広範な検索、高精度な分析  
を可能にする  
REECH DATABASE

グループ間連携によりワンストップでサービスを提供

# 中期テーマと目指す姿

中期テーマ

## Unite & Generate

クロス・マーケティンググループは「ジェネレイトカンパニー」を目指す

中期成長指針  
売上高 500億円  
営業利益 50億円

### 中期で目指す姿

- 中期で目指す姿の実現に向け、  
テーマを「**Unite & Generate**」とする  
グループシナジーを積極的に推進（**Unite**）し、新たな付加価値  
の創出。それらを通じて高い成長率を実現する
- クロス・マーケティングのグループとして各グループ会社の経営の品質  
を圧倒的に向上させる（**Generate**）
  - 人材育成投資**（経営人材の積極的な採用及び既存従業員の育成）
  - 投資**（AI投資による生産性の向上、システム投資・インフラ整備）
  - 周辺領域のM&A**
- 5年以内（2030年6月期）に  
**連結売上高500億円 営業利益50億円**を実現する



# 中期アクションプラン

中期テーマ

## Unite & Generate

クロス・マーケティンググループは「ジェネレイトカンパニー」を目指す

### アクションプラン ~事業セグメントの変更~

- 事業セグメントをこれまでの3区分から2区分に集約し、より事業シナジー創出のための基礎とする
 

インサイト事業とデータマーケティング事業を統合し**リサーチ・インサイト事業**とする。当該事業は顧客の求める付加価値の大きな変化に対応すべく単なるリサーチ業務にとどまらず、よりコンサル・インサイト領域の深化及び拡大を進め、デジタルマーケティング事業とのより積極的なシナジーを創出することで、新たな付加価値の提供を実現する

**デジタルマーケティング事業**は、特に、IP／インフルエンサーマーケティング、EC事業を中心にM&Aを積極推進し、サービス展開のラインナップを増やすことで、より顧客ニーズとマーケットの拡大に合わせた事業拡大を推進する
- デジタルマーケティング事業のうち、「マーケティングHR」、及び「IP／インフルエンサーマーケティング」を戦略的注力（Core-Development=コアデブ）領域に設定し、概ねCAGR+20%の売上高成長でグループ全体をけん引する

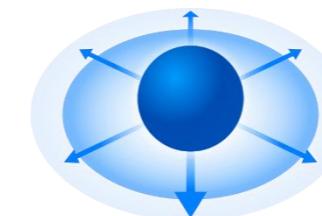
#### 中期で目指す姿実現のためのアクション

##### 事業セグメント → 3区分から2区分に集約

(インサイト事業とデータマーケティング事業を統合)

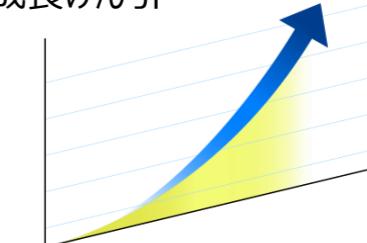
###### リサーチ・インサイト事業

- ・リサーチ業務の深化、領域拡大
- ・他事業シナジー、付加価値提供



###### デジタルマーケティング事業

- ・M&A積極推進、ラインナップ拡充
- ・Core-Dev.(戦略的注力)領域による成長けん引



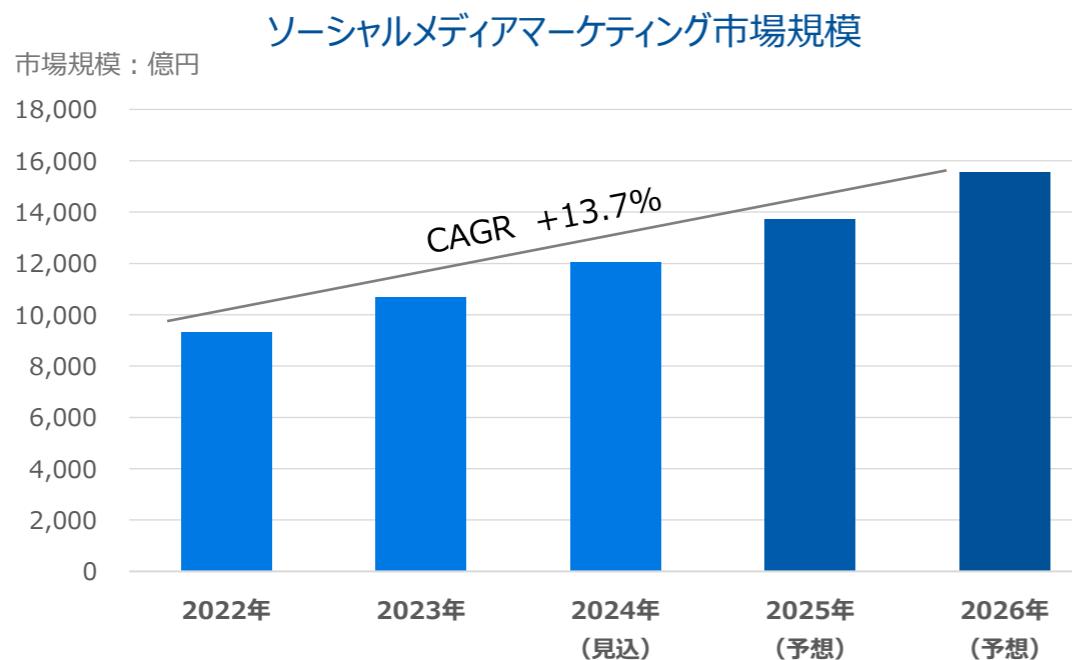
事業シナジー  
創出のための基礎

# Core-Dev.領域のターゲット市場

## Core-Dev.① IP/インフルエンサーマーケティング事業領域

### ソーシャルメディアマーケティング市場

ソーシャルメディアマーケティング市場は2023年に1兆円を超え、年率約14%で伸びている

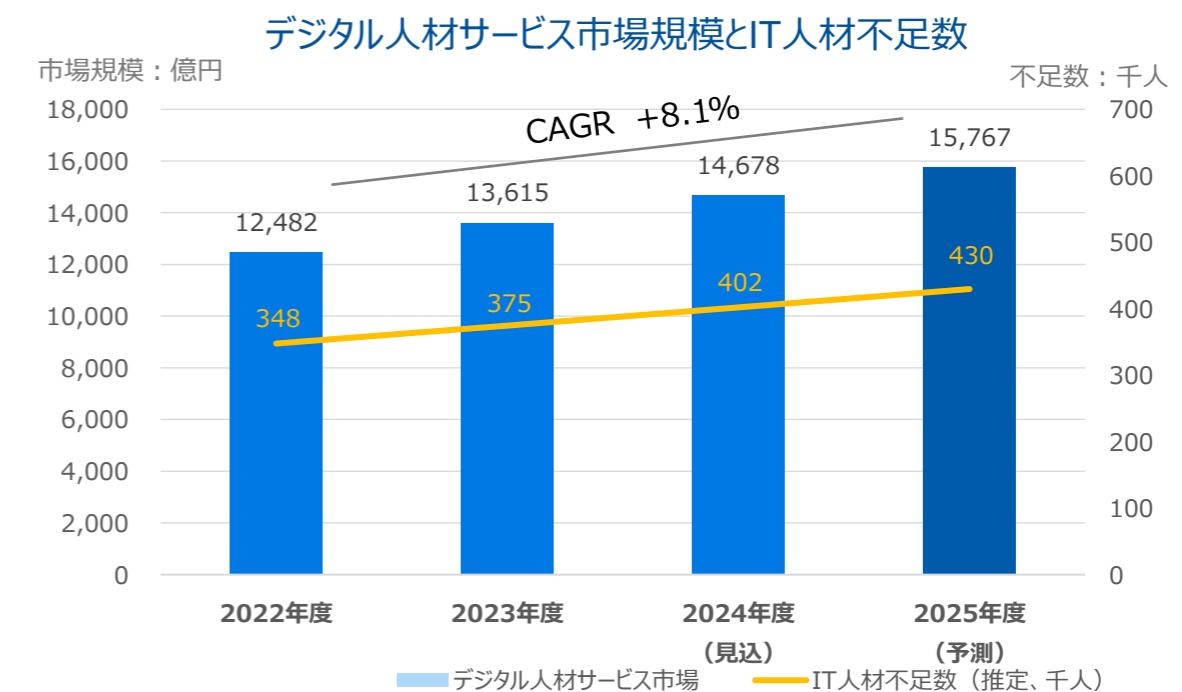


出典：サイバーバズ／デジタルインファクト調べ

## Core-Dev.② マーケティングHR事業領域

### デジタル／IT人材市場

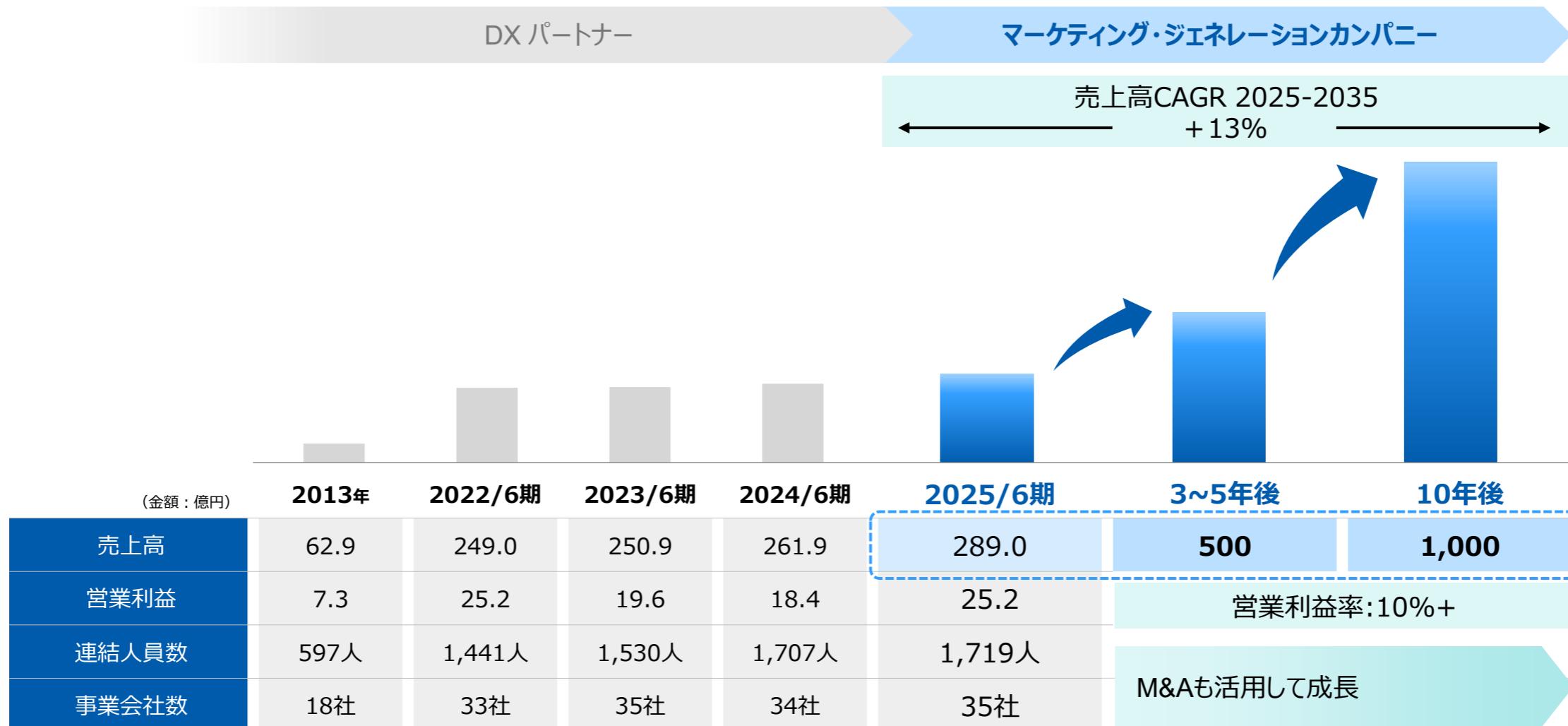
デジタル人材サービス市場は1.5兆円規模、年率8%と堅調に伸びる  
IT人材不足数は、今後も40万人規模で続くと推定されている



出典：経済産業省 IT人材供給に関する調査、IT人材不足数推定（中位シナリオ）及び矢野経済研究所 デジタル人材を対象とした人材サービス市場規模推移・予測より当社作成

## 5年以内に、連結売上高500億円 営業利益50億円 を達成する

マーケティング・ジェネレーションカンパニーとしてグループ企業の事業価値を高め、CMGの企業価値向上を牽引する

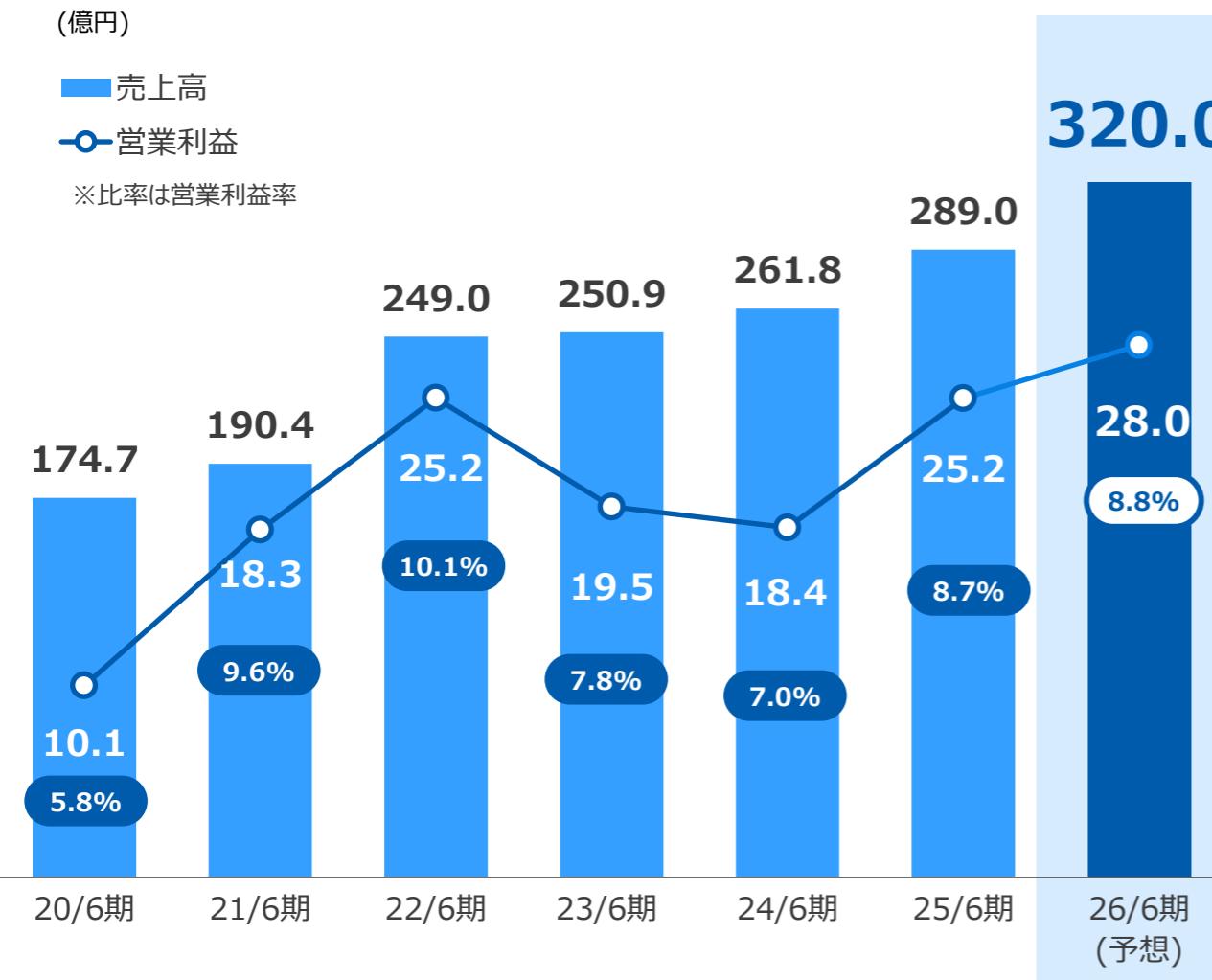


## AI時代に対応した新組織セットアップを実行

- グループ内横断型のAI活用促進組織「CMG AIワーキンググループ」の活動開始
- 事業プロダクト化と社内技術支援をミッションとした「AI技術専門組織」を立ち上げ

	実行施策	最新状況
<b>1 活用基盤の整備</b>  組織全体の活用カーラチャーなど活用や活用促進のための基盤整備	 <ul style="list-style-type: none"><li>生成AI活用のための社内共有ライブラリの構築</li><li>組織毎のAI定量指標（利用率など）を定点観測</li><li>統制とリスク回避のためのルールやガイドライン策定</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>社内CMG AI Portalの公開</li><li>AI情報局、相談窓口の開設</li><li>生成AI特化研修の計画策定</li></ul>
<b>2 業務効率化</b>  生成AIを活用した既存業務の工数削減と生産性およびサービス品質の向上	 <ul style="list-style-type: none"><li>各組織の業務プロセス改革（BPR）の実行</li><li>生成AI活用場所の特定（複数人対応メイン業務）</li><li>当社各組織・業務に対応したAIツールの開発</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>各組織活用プロジェクト推進</li><li>情報収集↔事例化サイクルの実行</li><li>業務専用AIツールの提供開始</li></ul>
<b>3 サービスへの応用</b>  生成AIを活用した既存プロダクトのアップデート、新規プロダクト開発	 <ul style="list-style-type: none"><li>生成AI新技术の情報収集と検証テスト</li><li>生成AIを活用した既存サービスの機能追加</li><li>生成AIを活用した新プロダクトの開発</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>AIプロダクトのPoCの実行</li><li>AIインタビューサービスリリース</li><li>次世代AIリサーチシステム開発</li></ul>

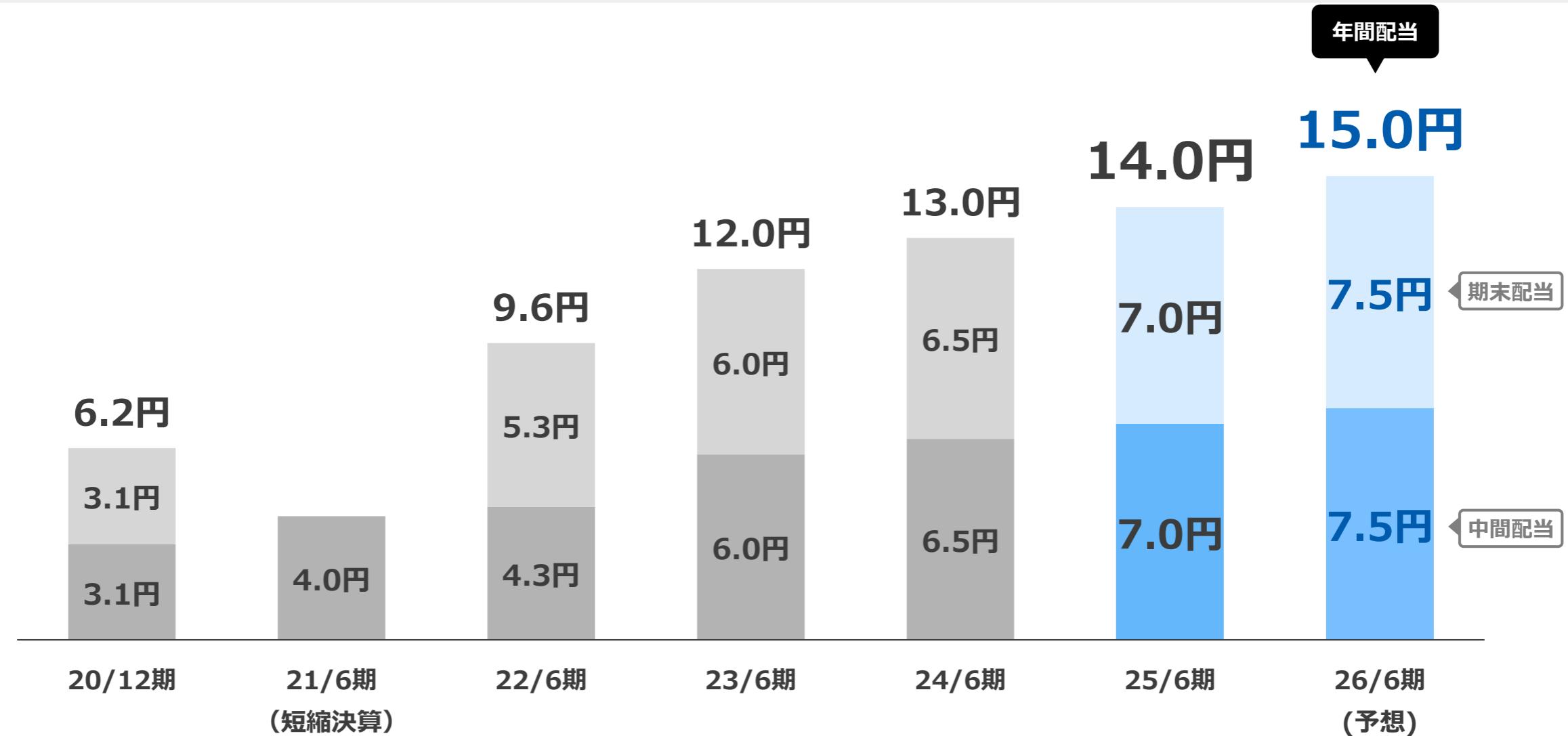
売上高320億円(11%増)、営業利益28億円(11%増)  
一株当たり配当額は前期比1円増の15.0円(上期7.5円、下期7.5円) を予想



	(億円)	25/6期 実績	26/6期 予想	YoY
売上高		289.0	320.0	+11%
デジタルマーケティング事業	125.2	148.0	+18%	
リサーチ・インサイト事業	163.8	172.0	+5%	
営業利益	25.2	28.0	+11%	
経常利益	24.0	27.0	+12%	
親会社株主に帰属する当期純利益	13.6	15.5	+14%	
EPS	70.5	81.7	+14%	
一株当たり配当(円)	14.0	15.0	+1.0	

配当方針：配当性向15%前後を目安とした継続的な増配（累進配当）

26/6期予想配当は1株当たり15.0円（中間7.5円、期末7.5円）





Cross Marketing Group